



林町の教育



<http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/hayashichou-ps/>

令和6年2月29日発行

「本当に子どもを信頼していたのであれば、
 そもそも裏切られたって腹を立てたりしないよ。」

校長 津島 弘和

令和5年度も残すところ、あと1か月になりました。学校では、卒業や進学に向けての準備をすすめているところです。現在、学校経営を評価いただくため実施した、保護者アンケート及び、児童アンケートの結果をお伝えするための準備やその評価を受けた次年度の計画を策定しているところです。

子どもたちは、年度末に向けて当該学年の学習事項の漏れがないように習熟を高める学習を行っているところです。その中でも、6年生は卒業式に向け、お世話になった方への感謝の気持ちを高めたり、自分たちが最高学年として取り組んできたことを振り返ったりと、様々な気持ちを高められるように指導をしているところです。

さて、先日ある保険会社のCMを家族で観ていたときのお話です。そのCMは、「自動車に乗って父親と子どもで、望遠鏡で星を観察に行く。」と言う設定だったと思います。すると、子どもが望遠鏡を運んでいる最中に、うっかり自動車にゴツンとぶつけてしまうのです。子どもは「ごめんなさい…」とすぐに謝罪します。それを受け、父親は、（こんな事故でも保険があるから）「大丈夫だよ！」と爽やかな笑顔で謝罪を受け入れます。そのCMを見て、うちの子が、「うちだったら、もっと怒られていたな…」とぼそっとつぶやいたのを聞き、冷や汗をかいたと言うことがありました。

以前の「林町の教育」でもお知らせしましたが、私も校長であると同時に、二人の子どもをもつ父親です。仕事としては、専門的に教育を行っていますが、親としては、日々反省することばかりです。子育てを振り返ると、たくさんの失敗や恥ずかしかったことが走馬灯のように思い出されます。子育てを通して私は、特に「やられた（信頼していたのに、裏切られた。）！」とか、「何で〇〇みたいになんないの？」と腹を立てたり、子どもを叱ったりしてしまったことが、度々ありました。そう言うことが減るように最近、心の指標としている言葉が、題名の言葉です。

「本当に子どもを信頼していたのであれば、そもそも裏切られたって腹を立てたりしないよ。」子育てに思い悩む中で友達から言われ、心に残っている言葉です。その方が言うには、子どもを真に信頼している親は、嘘をつかれたり、裏切られたりするような状況に直面したとしても、「どうしたらこの子がこの後、幸せに過ごすことができるか。」を考えます。同時に、「どうすれば親側も納得いくようになるか。」も考えます。その上で、「問題になったことのあり方を変えたり、改善したりする方法をすぐに考える。」のだそうです。

子どもも必死ですので、時には、嘘もつきます。ある研究によると、平均的な人は1日4個の嘘をついているそうです。子どもが嘘をついたり、自分にとって有利な話だけをしたりするのは普通です。でも、子どもが親に対して、嘘をつくのであれば、嘘をつかなくてはいけない状況を作った自分（親）が反省しなくてはいけないかもしれません。

また、ピグマリオン効果（※教育心理学における心理的行動の一つで、教師の期待によって学習者の成績が向上すること）からもモデルをもって子育てをすることは、重要です。しかし、人間はそれぞれ生まれもって与えられた才能や能力がDNAに書き込まれているので、皆違います。そもそも、他者と自分の子を比較することは不毛であり、全く意味がありません。差ではなく、違いなのです。

子どもたちは、同年齢の集団で過ごすことが多いです。そのため、平均やモデルがよく示されます。しかし、平均やモデルはそれ以上もいればそれ以下もいるのが当然です。そんなに振り回される必要はありません。

親は、わが子に対して基本的に愛情をもっています。しかし、愛情がある親は、必ずしも子どもを信頼していると限りません。なぜなら、親は、愛情を注いでいる分、「子どもは親の思い通りになるはずだ。」と錯覚しがちなのだそうです。

ダメな自分を反省し、日々、題名の言葉をかみしめています。皆さまにもこの言葉を参考にしていただき、親ライフをより豊かにしていただけますと幸甚です。

「卒業に向けて」

6年生担任

「卒業まであと〇〇日か…」そんな声が毎日のように聞こえてくる6年生の教室。そこには、児童が一日ずつ担当して作成したカウントダウンカレンダーが飾られています。日に日に小さくなっていくその数を見ながら、6年生は卒業に向けての準備をしています。まずは明日の6年生を送る会と、明後日の感謝の集いを成功させるべく、毎日練習に励んでいます。多くの在校生、教職員、そして保護者や地域の皆様に見守られながら成長したこの6年間を大切に、林町小学校から羽ばたいてほしいです。

「吹奏楽部の活動について」

吹奏楽部担当

今年度は、火曜日と金曜日の朝40分間と、月に2回の土曜日の午前中に3時間ほどの練習を中心に活動しました。校内での演奏会や第十中学校との合同演奏会では、保護者や地域の皆様に多大なご理解とご協力をいただきました。この場をお借りして、改めてお礼を申し上げます。また、3月9日には今年度の活動のまとめコンサートを本校体育館にて開催します。今年度の活動を次年度につなげ、子どもたちの豊かな情操を育むことができる活動になったら良いなと思っています。今後ともご支援とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

「避難訓練について」

生活指導部

今年度はコロナ禍以前のように、地震や火災の想定の場合には、校庭へ全校児童が避難し整列してから全体指導をする避難訓練を行ってきました。また、不審者対応や警戒宣言発令による引き渡しなどの訓練も行いました。毎回、全校児童が集中して訓練に参加することができるよう指導してきました。

学校での訓練に加え、ぜひご家庭でも避難訓練は命を守るために大切であること、訓練といえども真剣に取り組むことをお話してください。訓練は本番のように、本番は訓練のように行動することが大切です。また、登下校中や放課後など含め、学校以外で災害があったときの身の守り方や避難の場所もご家族で確認するようにしてください。

【3月の生活指導】

自分の物も みんなの物も
大切にしよう

《3月の行事予定》

1	金	学	6年生を送る会 4時間授業 ひまわり研究授業	区SC	ア
2	土		土曜授業公開 特別時程3時間授業 6年生感謝の集い 保護者会(全)		PM た
3	日				た
4	月	全朝		都SC	ア
5	火	学	クラブ活動		ア
6	水	音	4時間授業	区SC	ア
7	木	読			ア
8	金	学		区SC	ア
9	土		吹奏楽部コンサート		た
10	日				た
11	月	全朝		都SC	ア
12	火	学	委員会活動		ア
13	水	児		区SC	ア
14	木	読			ア
15	金	学		区SC	ア
16	土				た
17	日				た
18	月	全朝		都SC	ア
19	火	学			ア
20	水				た
21	木	読	給食終 大掃除 1~4年は4時間授業 卒業式予行(5・6年)		ア
22	金	学	3時間授業 修了式 離任式	区SC	
23	土				た
24	日				た
25	月		卒業式(6年生のみ)	都SC	
26	火		春季休業日始		ア
27	水				ア
28	木				ア
29	金				ア
30	土				た
31	日				た

※今月の避難訓練は、事前の予告をせずに行います。
SC: スカスカ来校日 月(都:榊原) 水金(区:鈴木)
校庭開放: た(たいさん木) ア(アクティ林町)